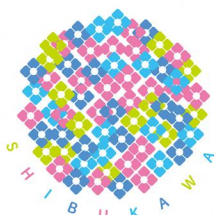




ひとり 一人ひとりがみんなちがって大丈夫
みんなでいきいき、じぶん自分らしくかがや輝こう



いっしょに考えてみよう

あなたは、「男の子だから」「女の子だから」とか、「男のくせに」「女のくせに」と言われたことはありますか？

そのとき、どんなふうにはあなたは、感じましたか？

たとえば…

- ・ なんて、男／女だからって好きなものをえらんじゃダメなの？
- ・ どうして、男／女だからってやりたいことをしちゃダメなの？
- ・ なんて、男の子／女の子 どうして遊んでいないとダメなんだろう？
- ・ どうして、男／女どっちかしかないんだろう？



「男」らしく「女」らしくないと、「ヘン」？



みんなと 同じ じゃないと、「ヘン」？

だれが決めたの？

男の子は、青や黒？ズボン？

女の子は、赤やピンク？スカート？

男の子は、元気？外で遊ぶ？

女の子は、おとなしい？部屋で遊ぶ？

女の子だから、おうちのことをしなきゃ？

お医者さんや運転士さんは男の人？

看護師さんや保育士さんは女の人？

「自分」らしさのヒント

せいべつ
性別で色や服を分けないで

みんな 好きな色や服 をえらぼう

せいべつ
性別で 言いたいこと や やりたいこと を
がまんしないで

みんな で、いっしょに やろう

せいべつ
性別で決められたお仕事はないよ
せいべつ
性別で なりたいもの をあきらめないで



「男」らしく「女」らしくないと、「ヘン」？



じぶん
「自分」らしい だいじょうぶ
あなたで **大丈夫** ！

自分らしさを大切に
しよう

得意なこと
苦手なこと
みんな
ちがうよ

好きな色や
好きな遊びが
ちがっていても
おかしくないよ



みんなと 同じ じゃないと、「ヘン」？



「自分」らしいあなたで 大丈夫！

みんなが
いきいき、
のびのび、

^{じぶん}自分らしく ^{かがや}輝くために



共生社会実現のまち
渋川市

自分が得意なことは、どんどんチャレンジしよう。
苦手なことは、みんなで力を合わせて解決しよう。
まわりの人が困っていたら、声をかけてみよう。
みんなで助け合って協力できたら、たくさんの人と仲良くなれるよ。
ともだちが増えたら、楽しいこと、うれしいことが増えていくよ。

保護者の皆様へ

皆さんは、「男（女）のくせに」「男（女）らしく」と言われた経験はありませんか。また、そのように言われることをどう感じていましたか。性別だけで区別されることに、「自分らしさ」を否定されるような違和感を覚えたことはなかったでしょうか。

男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法など、男女平等に関する法律が制定され、働く女性も増え、男性の育児参加も進み、男女平等が当たり前のことに感じている人も多いのではないのでしょうか。

しかし、皆さんを取り巻く社会では、まだまだ「男」か「女」かというフィルターを通して判断したりされたりすることが、様々な場面で起こっています。

例えば…

- ・ 男の子だから青、女の子だから赤、と目印や持ち物の色・服装などを決めつける
- ・ 家事や育児・介護は女の人、外で働くのは男の人という役割分担意識
- ・ 子どもが病気や学校行事の時、仕事を休むのはいつも母親
- ・ 自治会、子ども会、PTAなど各種団体の代表は、いつも男性

皆さんの心の中には、このような性別に関する無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）や偏見が残っていませんか。

子どもたち一人ひとりが自分らしく生き生きと、それぞれの個性と能力を十分に発揮し活躍できる未来のために、男女共同参画とは何か、多様性とは何か、家族みんなで考えてみませんか。

＼もっと詳しく！／

「男女共同参画」

詳細はコチラ ▶

リンク先：市ホームページ

